

平成 20 年度後期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 2	各国語文献読解（英語）・心理学選択

問題 1 と問題 2 について、それぞれ別の解答用紙を用いて解答しなさい。なお解答スペースの一行目には、解答した問題の番号を記すこと。

講 座	人間行動論
専門科目 2	各国語文献読解 (英語)・心理学選択

問題 1

以下の英文 (この問題用紙を含めて 2 頁分) を読み、本文中から読み取れる論旨を

(1) グールド (Gould) の論点、(2) スキナー (Skinner) の論点、(3) 著者の論点、に分けてまとめなさい。

(O'Donohue, W. & Ferguson, K.F. The psychology of B.F. Skinner, pp5-7 より)

平成 20 年度後期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 2	各国語文献読解 (英語)・心理学選択

問題 2 筆者は、SARS-related stress と daily life stress をどう比較し、どのような学問的主張を展開しているのか。(Y. Guan, Y. Liu and Y. Zhang, Flexible coping responses to severe acute respiratory syndrome-related and daily life stressful events. Asian Journal of Social Psychology, 7(1), p55-66, 2004 より)

(p63,3-34 行目)